

(児童発達支援)

(別添資料1)

事業所名

おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマート江戸屋2号店

支援プログラム(参考様式)

作成日

8

年

2

月

1

日

法人(事業所)理念		障害のある子どもを「守られる存在」としてではなく、社会の一構成員として自立し、社会性を発揮できる人間へ育てることを理念とする。								
支援方針		就学前の重要な発達の臨界期において、健康・生活習慣、認知・実行機能、運動・感覚、言語・コミュニケーション、社会性・情緒の各側面を統合的に育てる療育を行い、子ども自身が自分の特性を理解し、合理的配慮を活用しながら、自ら助けを求め、主体的に行動できる力を育成する。また、家庭・保育所・幼稚園・学校・医療等の関係機関と連携し、就学およびその先の社会生活までを見据えた切れ目のない支援を提供し、「できない」を「できる」に変える成果志向の療育を実践する。								
営業時間		平日 9時30分から	9時00分	18時30分まで	休日(園)	9時00分	18時00分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		9								
本人支援	健康・生活	挨拶、身支度、整理整頓、衛生管理、食事、トイレ等の基本的生活動作の自立支援 行動の切り替えや時間意識を身につけ、集団生活の流れに沿って行動する力を育成 安心・安全な環境の中で、生活リズムの安定と情緒の安定を図る								
	運動・感覚	原始反射の統合、バランス調整を意識したエクササイズプログラムの実施 触覚・前庭感覚・固有感覚等への適切な刺激を通じ、感覚過敏・鈍麻への対応を行う バランス感覚運動、ダンス(ZUMBA®)、各種エクササイズ等により、身体の使い方(協調・認知作業)と自己調整力を高める 眼球運動、マイルストーンエクササイズ、ブレインジム®、コーディネーショントレーニング等を活用								
	認知・行動	指示理解、課題遂行、順序立て、見通しを持った行動の習得 注意力、集中力、計画性、実行機能を遊びや認知作業トレーニング、課題活動を通じて育成 感情や行動を自分で調整する力を身につけ、就学に向けた学習態度の基礎を養う マインドフルネス等を取り入れ、情緒の安定を図る								
	言語 コミュニケーション	挨拶や適切な言葉遣い、場面に応じた表現方法の習得 自分の気持ちや要求を言葉で伝える力の育成 助けを求める方法や、相手に配慮した伝え方を学ぶ 就学後を見据えた基本的なコミュニケーション能力の向上								
	人間関係 社会性	集団活動や季節行事、創作活動、音楽・ダンス・リズム遊び、簡単な劇遊び等への参加 ルール理解、順番を待つ、協力するなどの社会的行動の習得 幼児期に学ぶべく、社会性の土台づくりである、他者の気持ちを理解する「心の理論」の獲得 自己肯定感を高め、安心して人と関わる力を育成								
家族支援		・家庭での関わり方を具体的に提示し、「家庭療育の質」を高める支援 ・子どもの成長、課題を共有し支援の方針の理解。 ・定期的な保護者会開催で子育ての悩み、相談の受付。			移行支援		・幼稚園、保育所と連携し支援の方法を共有 ・就学先と合理的配慮の内容を具体的に共有 ・就学後も継続可能な支援方法の引き継ぎ			
地域支援・地域連携		教育委員会や地域の保育所、幼稚園、利用児童のかかりつけ医と連携し、会議や情報共有を通じて支援を行っている。医療機関に対して受診に必要な情報提供を行うとともに、専門的な助言を受け、療育支援に活かす。			職員の質の向上		・社内研修による支援の質の向上。 ・誰もが同じ支援ができる様、マニュアルの作成。 ・毎日の合同ミーティングで社内が連携し、課題の解決。			
主な行事等		2月、8月の避難訓練(消防署の協力)に加えて防犯訓練、救命訓練。AED操作実演。 テーブルマナー講習、誕生会、遠足、スイカ割り大会、夏祭り、創作活動おたのしみ会。アニマートグループ音楽コンサート参加。保護者会、勉強会。								